

# なよろ



名寄市観光キャラクター  
「なよろ」



## 目次

- 定例会で決まったこと ..... 2
- 議決結果・意見書 ..... 3
- 一般質問に 13 人 ..... 4～10
- 議会運営委員会活動報告・議会日誌 ..... 10
- 各常任委員会活動報告・議員協議会 ..... 11～13
- きぼう・編集後記 ..... 14

令和 2 年  
第 4 回定例会  
**第 59 号**  
令和 3 年 2 月 1 日  
発行

令和2年 第4回定例会 11月30日～12月18日

▽4月から供用開始となる合同墓の使用料金などが決定。  
 ▽ピヤシリスキー場ほか2施設の指定管理者として、名寄振興公社を指定する案を可決。  
 ▽旧公設地方卸売市場の跡地を北海道防衛局へ売却。

令和2年第4回定例会は、11月30日～12月18日までの19日間で開会。開会初日の行政報告では、加藤市長が下水道使用料の賦課漏れについて、調査結果を報告するとともに、負担の公正、公平性を損なう事態を招いたことなどに対し、謝罪しました。議案審議では、「名寄市墓地条例の制定について」を委員会付託し、委員長報告のとおり原案可決するなど、条例案16件、協定の締結11件、指定管理者の指定12件、補正予算案6件、財産の処分など2件を原案のとおり可決しました。一般質問では16日から18日までの3日間で、13名の議員が市政全般について質問を行いました。

条例の制定および改正

☆名寄市墓地条例の制定について

令和3年度から供用開始となる名寄市合同墓の設置に伴い、使用資格や使用料金などを定めるとともに、内容が重複する名寄市墓地条例と名寄市霊園条例を統合し、手続きなどをわかりやすくするため、名寄市墓地条例を全部改正しました。

なお使用料金は、一体当たり1万5千円です。

☆名寄市風連スキー場条例の一部改正について

現在、小学生以下はリフトの利用が無料になっていますが、本市の代表的な冬季スポーツであるスキー・スノーボードの人口拡大と普及のため、条例の一部を改正し、中学生以下の利用を無料にしました。

☆名寄市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

名寄市特別職報酬等審議会の「人事院勧告に基づく一般職員の期末手当の引き下げに準じて、改定を行うことが適当であること」の答申により、議員についても期末手当を0.05カ月分引き下げたため、条例の一部を改正しました。

☆特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定について

水道を使用し、下水道に接続されているにもかかわらず、下水道使用料を賦課することなく、未徴収になっている賦課漏れが判明したことにより、市長と副市長の1月分の給料を減額するため、条例を制定しました。

指定管理者の指定

☆名寄ピヤシリスキー場、名寄市ピヤシリシャイツェ、体育センターピヤシリ・フォレスト

今年度で指定管理期間が満了することに伴い、公募による施設であるピヤシリスキー場などの指定管理者として、名寄振興公社を指定する案を可決しました。

☆財産の処分

旧公設地方卸売市場の跡地を、北海道防衛局に名寄駐屯

地の新宿舎用地として1億953万円で売却する案を可決しました。

主な補正予算

☆地域交通対策事業費

新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が大きく落ち込んでいる道北バス名寄線を、旭川市から本市までの沿線自治体で支援するため、572万2千円を追加しました。

☆商店街等活性化関連補助金

名寄市中小企業振興条例に基づく補助事業（店舗の改築などへの支援）の拡充・緩和策を継続することにより、新型コロナウイルスで厳しい経営が続く中小企業の積極的な投資を後押しするため、1億円を追加しました。

☆ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費

ひとり親家庭の生活実態が依然として厳しい状況にあることを踏まえ、ひとり親世帯臨時特別給付金の基本給付を受給された方へ基本給付の再支給（一世帯当たり5万円、第二子以降は一人につき3万円）を実施するため、1339万8千円を追加しました。

人事案件

◆人権擁護委員

上 西 静 枝氏（再任）  
 名寄市西5条南5丁目

## 令和2年 第4回定例会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	名寄市墓地条例の制定について	原案可決
議案第2号	所得税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案第3号	名寄市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	名寄市手数料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第5号	名寄市図書館条例の一部改正について	原案可決
議案第6号	なよろ市立天文台条例の一部改正について	原案可決
議案第7号	名寄市風連スキー場条例の一部改正について	原案可決
議案第8号	名寄市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第9号	名寄市企業立地促進条例の一部改正について	原案可決
議案第10号	名寄市ふうれん望湖台自然公園条例の一部改正について	原案可決
議案第11号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（和寒町）	原案可決
議案第12号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（剣淵町）	原案可決
議案第13号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（下川町）	原案可決
議案第14号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（美深町）	原案可決
議案第15号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（音威子府村）	原案可決
議案第16号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（中川町）	原案可決
議案第17号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（幌加内町）	原案可決
議案第18号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（西興部村）	原案可決
議案第19号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（枝幸町）	原案可決
議案第20号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（浜頓別町）	原案可決
議案第21号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について（中頓別町）	原案可決
議案第22号	指定管理者の指定について（名寄市体育施設）	原案可決
議案第23号	指定管理者の指定について（名寄ピヤシリスキー場、名寄ピヤシリジャンツェ、体育センターピヤシリ・フォレスト）	原案可決
議案第24号	指定管理者の指定について（名寄市大橋地区コミュニティセンター）	原案可決
議案第25号	指定管理者の指定について（名寄市ゆきわらべ雪冷貯蔵施設）	原案可決
議案第26号	指定管理者の指定について（名寄市風連農産物出荷調整利雪施設）	原案可決
議案第27号	指定管理者の指定について（名寄市東部地区集落センター）	原案可決
議案第28号	指定管理者の指定について（名寄市西部地区集落センター）	原案可決
議案第29号	指定管理者の指定について（名寄市特別養護老人ホーム清峰園）	原案可決
議案第30号	指定管理者の指定について（名寄市デイサービスセンター楽々館）	原案可決
議案第31号	指定管理者の指定について（名寄市デイサービスセンター友遊館）	原案可決
議案第32号	指定管理者の指定について（名寄市風連特別養護老人ホームしらかばハイツ）	原案可決
議案第33号	指定管理者の指定について（名寄市風連在宅老人デイサービスセンター）	原案可決
議案第34号	財産の処分について	原案可決
議案第35号	名寄地区衛生施設事務組合規約の変更について	原案可決
議案第36号	令和2年度名寄市一般会計補正予算（第9号）	原案可決
議案第37号	令和2年度名寄市介護保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第38号	令和2年度名寄市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第39号	令和2年度名寄市立大学特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第40号	令和2年度名寄市下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第41号	名寄市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第42号	名寄市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第43号	名寄市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第44号	名寄市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第45号	名寄市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第46号	特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定について	原案可決
議案第47号	令和2年度名寄市一般会計補正予算（第10号）	原案可決

第4回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

- ◎ 2021年度介護報酬改定における大幅増額、コロナ支援を求める意見書
- ◎ コロナ禍による地域経済対策を求める意見書
- ◎ 特定戦災障害者等に対する特別給付金の支給等に関する法律の早期制定を求める意見書

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します



安心と安全を求める

市民ネット 山崎 真由美 議員

コロナ禍でも安定を

問 新型コロナウイルスが猛威を奮い、さまざまな情報が交錯する中では、不安が増幅する一方である。感染者や医療従事者・関係者を誹謗中傷から守ることも含め、市独自の情報提供についての考えは。

答 感染者の公表は、本人や家族の同意など、国・道の基準が大前提となり、市が独自で公表することはできない。しかし市内公共施設関係から、感染者が確認された場合には、感染拡大防止のため、速やかに情報発信する。また「コロナ差別がゼロのまち宣言」の普及啓発に努める。

問 コロナ禍での生活が長期化する中、小規模事業者に対する多面的な支援策は。答 名寄商工会議所、風連商工会と連携し、市内の各業界団体と個

別に意見交換を行い、適宜、必要かつ持続可能な対策を講じる。

担い手育成は喫緊の課題

問 有害鳥獣対策強化を目的とした、駆除担い手の育成・確保について、資格取得への支援策も含め、対応は。答 名寄市有害鳥獣農業被害防止対策協議会の事業として、猟友会における研修などを支援している。今後も協議会において、捕獲作業の負担軽減につながる手法を含めた調査・検討を進めていく。

他の質問 オンライン化に向けた体制強化について

名寄市  
コロナ差別がゼロのまち宣言

『3つの宣言と3つのお願い』

名寄市では市民の皆さまの安全・安心な暮らしを守るため、以下のとおり取り組むことを宣言します。  
新型コロナウイルス感染症に関する差別から人々を守るため、市民の皆さまに3つのお願いがあります。

宣言1 感染者や医療従事者等の人権を守ります。  
～感染者や医療従事者等は、守られるべき存在です～

宣言2 風評被害を防ぎます。  
～正しい知識や情報に基づいた、冷静な行動を～

宣言3 思いやりの気持ちを持って、安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。～人を思いやる気持ちを忘れずに～

お願い1 感染者や濃厚接触者やその家族、知人、医療従事者等に対して非難したり、差別や偏見に基づく差別、いじめや誹謗中傷等をするのはやめてください。感染者等に関する個人情報や心ない書き込み等をインターネット・SNSに掲載・投稿することはやめてください。

お願い2 正しい知識をもとに、むやみに恐れることなく冷静に行動し、誤った情報や不確かな情報を拡散することはやめてください。

お願い3 誇ろべきは人ではなく新型コロナウイルスです。「もし自分が感染したら」と考え、市民一人ひとりが正しい思いやりの気持ちを持って、行動してください。

「新北海道スタイル」を実践し、感染予防の徹底に努めてください。  
すべての市民が心をつなにし、一丸となって、新型コロナウイルス感染症に立ち向かっていきましょう。

令和2年12月2日  
名寄市長 加藤 剛士

コロナ差別がゼロのまち宣言



新年度予算編成に向けて

市民ネット 倉澤 宏 議員

コロナ対策予算確保の考えは

問 今年度は新型コロナウイルス関連で、経済対策など、多くの事業が実施されたが、新年度当初予算で一定確保の考えは。

答 激変緩和措置としての予算枠を設ける考えはないが、景況の推移を見極め、必要と判断した際は、速やかに事業展開をする。

問 年末に向けて厳しい状況の一部の業種に対し、市長からメッセージを。答 臨時議会を開催し、補正予算を組むことを含め、状況を見ながら対応したい。

問 研修施設改修の見直しは。答 昨年、設計業務を中止して一年が経過したが、業務の再開と工事の見直しは。

問 総合計画の見直しにおいて、温浴施設部分の改修を先行して行うこととし、令和3年度に実施設計、令和4年度に工事費を計上している。(株)名寄振興公社に市職員



設計業務が中断となったままのサンピラー温泉

を2名派遣しているが、自立化に向け、人材育成などに対する支援の考え方は。答 職員派遣は、原則今年度をもって終了と説明している。(株)名寄振興公社でも体制整備を進めているが、最大株主として常勤役員の配置も検討している。

他の質問 空き地・空き家対策について

## 一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



### 財産を生かしたまちづくりを

市政クラブ 東川孝義 議員

**問** 名寄の財産を守り育てる名寄市の財産とも言える名寄市立総合病院、名寄市立大学の経済効果と当面の目標・課題は。

**答** 市立総合病院は平成27年8月に救命救急センターの指定を受けて以降、ドクターヘリ、ドクターカーは毎年20〜40件、救急車は毎年1900件前後を受け入れている。医師は毎年70人以上の体制を維持しており、経済効果として、診療材料費で約13億円、給食材料費で約9千万円、その他経費で約3億円となっている。課題として、二次医療圏内では唯一の急性期機能を維持するため、役割の分担と連携の広域化を進めてきている。

学生、教職員は約9000人おり、年間約10億8千万円の効果で、地域の関係機関との連携事業などを行っている。課題として、18歳人口が減少している中、大学間競争は厳しくなっているが、地域密着型の教育という大学の魅力を今後も高めていく。

### 補正予算は真水の効果

**問** 令和3年度予算の歳入・歳出の概要とコロナ禍における新たな経済対策は。

**答** 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による市税減収やその他の要因で、財政運営における課題は山積しているが、経済対策は補正も含め、しっかりと対応する。



安全安心な救急医療体制の継続を



### 安心して暮らせるまちづくり

市政クラブ 遠藤隆男 議員

**問** 子ども子育て支援について

「こどもらんど」における療育体制、支援内容、関係機関との連携について伺う。

**答** 療育支援については、5名の指導員を配置し、個別の利用計画に基づき、遊びを通して個別の療育を提供するとともに、集団生活に適應できるように、小集団での療育を年に数回実施している。また保護者に対して、医療機関や相談機関などの必要な情報提供、悩み相談など、寄り添った支援を実施している。関係機関との連携については、保護者の承諾を得て、保育所などの集団の場における日常の様子や支援方法の確認、保健センター、市立総合病院、道立旭川肢体不自由児総合療育センターなどの情報共有のほか、教育委員会や各小学校と就学に向けた情報交換を実施している。

**問** 本市の障がい児保育の現状などについて伺う。

**答** 本市における障がい児保育については、現在、すべての認定こども園、幼稚園、保育所で実施しているが、それぞれ職員を加配し、安全を確保した上で幼児教育・保育を実施している。今後も、子どもや保護者が安心できる体制の整備に努めていく。

**他の質問** 農業振興センターの役割および実証試験について、地域おこし協力隊事業の評価と課題について



「安心して子育てができる」支援・取り組みを

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します



誰もが安心して暮らせるまち

市政クラブ

五十嵐

千

絵 議員

再犯防止の取り組みについて

**問** 罪を犯した人などが円滑に社会復帰するためには、地域社会の支援が必要不可欠で、一番身近な自治体の協力が必須と考える。就労場所や住居の確保はもとより、福祉サービスが必要になる場合がある。地域の更生保護団体との連携の必要性について、本市の考えは。

**答** これまで「社会を明るくする運動」を通じて刑事司法分野に関わりを持っていたが、更生保護事業に行政が直接的にかかわるケースなどは少ないのが実情。福祉サービスに関する相談では、分け隔てることなく、だれでも気軽に相談できる体制を整えており、複数にわたる要件の場合は、横断的連携を行うことで、相談者に寄り添った対応をしている。今後は、本市としても課題であった刑事司法分野との情報交換を行うことで、関係機関と連携した取り組みを進めていく。

**問** 再犯防止推進計画の策定の考えは。

道内では、各自自治体での

**答** 道内では、各自自治体での地方再犯防止推進計画の策定は進んでいない状況にあるが、必要性は十分認識している。北海道環境生活部くらし安全局道民生活課では、来年度からの実施に向けて、同計画を策定中と聞いている。他市町村の策定状況なども含め、注視していく。

他の質問

企業誘致と市内立地企業の流出防止の取り組みについて、生きるを支える取り組みについて



再犯を防いで地域全体の「安全・安心」を



冬季スポーツの拠点化へ

市政クラブ

清

水

一

夫 議員

人工降雪機導入の調査研究

**問** 第2回定例会で、人工降雪機の導入について質問をし、理事者から調査・研究をするとの答弁があったが、調査・研究の結果について伺う。

**答** これまで、さまざまな助言や支援をいただいている株式会社マックアースを通して、情報収集をしている。また先進地である、FIS公認国設阿寒湖畔スキー場の視察も計画している。人工降雪機などの設備機器導入の効果を、スキー場運営の視点と合宿・大会誘致の視点から調査を進めていきたい。

Jr.アルペンスキー大会支援

**問** 昨シーズン、コロナ禍で大会が中止となったが、今年度も大会の開催を計画している。大会の開催に当たり、協力支援についての考えは。

**答** 企画されるということであれば、冬季スポーツの振興



人工降雪機を導入し、合宿などの誘致を

を図る上で、大変嬉しい話である。今後、大会運営や競技に必要な備品購入などの要望があれば、検討していくとともに、大きな予算が伴うのであれば、総合計画ローリングの全体協議の中で、必要性や効果を検証・検討していく。

**他の質問** ピヤシリスキー場での新型コロナ対策、全道・全国スキー大会での新型コロナ対策、避難所開設における新型コロナ対策について

## 一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



### 安心して暮らせる名寄市

市民ネット 高野 美枝子 議員

#### 冬季の安全対策

**問** 市内の交差点の安全対策と通学路の確保について伺う。

**答** 道路パトロールや市民からの情報により、今季も安全確保を最優先に作業を行うとともに、市民へも交差点での安全確認の徹底などを引き続き啓発していく。

#### 子どもたちの未来に安心を

**問** コロナ禍による市内での不登校など、不安を抱える子どもたちの状況とその支援について伺う。

**答** 子どもたちがコロナ禍による学習環境や家庭環境などの変化により、さまざまな不安を抱えていることが考えられる。一人ひとりに応じた心のケアに努めることは極めて重要で、子どもたちに寄り添った適切な指導に取り組み、老朽化した中学校の整備計画について伺う。

**答** 名寄中・東中学校は旧耐震構造であり、早急な対応が必要である。学校施設整備計画を基本としながら、個々の



老朽化が進む名寄中学校

劣化状況に応じた個別施設計画を作成するための調査を行うとともに、児童生徒数の推移など、さまざまな要因を加味し、整備を計画的に進める。

**問** 名寄高校・産業高校の再編について伺う。

**答** 両校の定員割れが続く中、道教委から令和5年度の配置計画案が示された。市内の高校が魅力ある学校として地域から認められるよう、魅力ある高校の在り方を模索し、設置者である道教委に地元意見を尊重するよう求めていく。

**他の質問** 立地適正化計画の推進と今後の取り組み、公共施設整備、まちづくり会社。



### 長期化で心のケア重要に

市民ネット 富岡 達彦 議員

#### コロナ禍での心のケア対策

**問** 「コロナ差別がゼロのまち宣言」をどのように周知啓発していくのか。

**答** ポスター・チラシの掲出を公共施設、各事業所、町内会などに依頼し、周知啓発する。

**問** 宣言文をホームページのトップに掲載できないか。

**答** 早急に対応する。(即日対応された)

**問** メンタルに不調を抱える人の把握とケア対策は。

**答** それぞれの特性に応じた相談窓口を設置して、適切に対応している。児童生徒には、一層きめ細かな対応に努める。

**問** 不登校や登校しぶりの児童生徒に対する教育の機会を失わないために「教育機会確保法」をどのようにとらえているか。

**答** 本市の人口規模では、フリースクールの設置は困難であるため、教育支援センター

で対応している。

**問** 夏以降、全国的に急増中のいたましい自殺を未然に防ぐ対策として、ハイリスク者の把握と命のセーフティネットの取り組み、ゲートキーパーとの連携活動について伺う。

**答** 市民一人ひとりが命の大切さを考え、ともに支え合う地域社会の実現を目指すとともに、ゲートキーパーの養成を推進する。

**問** 人権週間において、誰一人取り残さないというスローガンのもと、コロナ禍での本市の取り組みについて伺う。

**答** コロナによる不当な差別やいじめ防止の啓発活動を実施。

#### 他の質問

地域公共  
交通活性化  
物流  
の最適化  
・適正化  
について



シトラスリボンプロジェクト。\*差別的言動には同調しない。

\*シトラスリボン：新型コロナに感染した方、医療従事者などへの差別をなくすための思いを広めようと、愛媛県から全国に広まっている取り組み。



持続可能なまちづくり

市政クラブ 塩田昌彦 議員

**問** なよる健康の森の活用

立公園エリアの将来構想について。

**答** 本構想は、平成26年度に、整備すべき方向性について、市民と議論するため策定した。構想に基づく個別の基本計画の策定には至っていないが、第2次総合計画や冬季スポーツの拠点化の推進を通して、日進地区の活性化に努めている。

**問** なよる健康の森の魅力発信について。

**答** なよる健康の森は、市民の憩いの場として、自然に親しみながら「健康」をテーマに、スポーツ・文化・自然体験などを通して、市民の健康と福祉、生活文化の向上を図ることを目的に開設している。なよる健康の森の森林空間であるトムテ文化の森の

年間利用者は1万人で、「健康の森を歩く会」による林内散策やへっちゃらランドによるキャンプ、市内小中学生による林内探索・遠足で利用されているほか、同会や民間人の努力で、一般の方も多く散策している。今後は、四季折々の自然やその中で生きる動植物など、森林空間の魅力を把握し、市内外に情報発信したい。また森の記録「森のものがたり」をもとに、なよる健康の森の魅力を広報なように掲載し、もっと多くの市民に伝わるよう情報発信していく。



“森のものがたり”  
なよる健康の森の「森のものがたり」

**他の質問** 名寄市行財政改革の推進について、水防対策の現状について



新たな農業労働力確保対策を

市政クラブ 山田典幸 議員

**問** コロナ禍での地域農業の状況

新型コロナウイルスの影響により、外国人技能実習生が来日できず、受入予定の農家にとっては、不安の中でスタートとなった。さまざまな形での人材確保や関係機関・団体などの支援により乗り切ったが、本年の状況を踏まえた今後の農業労働力確保対策について、考え方を伺う。

**答** 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、課題が明らかになった一方で、これまで想定していなかったワーキングホリデーや人材派遣会社の活用など、新たな取り組みが生まれる結果となった。本年の課題や成果を踏まえ、多様な取り組みによる労働力確保に向け対応していく。

**問** コロナ禍の影響による職業観の変化や働き方の多様化などから、農業に対する関心が高まっている。新規就農者などの確保につなげる機会と

とらえ、一層の取り組みの充実が必要と思うが、考え方を伺う。

**答** コロナ禍における多様なニーズは、農業員支援制度と都市部の農業に関心を持つ方々とのマッチングの追い風となる可能性が高い。移住担当部署との連携を強化し、一人でも多くの方に本市農業の魅力を知っていただけるよう、事業を推進していく。



多様な形での農業労働力確保が急務



## 一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



### 地域活動の支援について

市政クラブ 三浦 勝秀 議員

#### 町内会活動について

**問** 町内会活動の縮小について、どのようにとらえているのか考えを伺う。

**答** 協働のまちづくりを進める上で、最も重要な組織であると認識している。またこれまでに財政的支援や意見交換を行い、活動の推進を支援してきた。今後も連携を深めながら、安心して暮らせる住みよいまちづくりを推進する。

**問** 市から依頼している公園維持管理事業は、町内会の負担が大きく、引き受けられない場合の対応について伺う。

**答** 事業の実施が困難となった場合は、町内会の状況を聞いた上で、個別に協議したい。町内会加入促進に向けた取り組みなど、町内会への支援について伺う。

**答** 転入者に対しては、市役所窓口での加入案内や、不動産会社と連携し、加入案内のチラシを配布するなどの取り

組みを行っている。また町内会連合会では、町内会加入促進リーフレットの作成を検討している。

**問** ひとり親家庭と学生への支援について。

**答** ひとり親家庭に対しては、給付金を支給しているほか、年内に再支給を行う準備を進めている。また社協では貸し付けの支援を行っている。学生については、学食での割引支援に新たに組み組んでいる。**他の質問** 働き方改革の取り組みについて、ごみの分別やリサイクルについて



地域活動の推進について



### コロナ禍でオンライン申請を

公明 高橋 伸典 議員

#### ぴったりサービスの活用を

**問** 住民が窓口に向くことなく行政サービスの提供を受けられるよう、行政手続きのオンライン化を進めるため、重要な手段となるマイナンバーカードを利用し、住民

サービスの向上と行政の効率化に向けた「マイナポータル」・「ぴったりサービス」を活用することが必要と考えるが。

**答** 住民サービスの向上と行政の効率化などで有効とされており、国の動きに合わせ、オンライン化に向けた各種システムの対応や費用対効果などを研究する。「特別定額給付金」のオンライン申請では、不慣れなことが混乱の要因であり、「ぴったりサービス」を利用したオンライン申請が可能になることで、同様の混乱は減らせるものと考えるが、システム改修を行う必要があり、費用も発生する。しかし窓口サービス改善の有効な手



ぴったりサービスの推進を

段の一つと考えられるため、関係部局を中心に活用について議論を進める。

**問** 押印廃止と書面主義の見直し  
**答** 押印廃止は新型コロナウイルス感染症対策が求められる中、国では押印手続きの大半が廃止される見通しで、国が作成するマニュアルを踏まえ、押印廃止が可能かどうか庁内全体で協議を進める。

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します



コロナ禍の医療、介護を守れ

日本共産党 川村幸栄 議員

コロナ禍の医療現場支援を

問 日本医師会会長らがこの

まま感染者が増えれば、医療崩壊になる可能性が高いと指摘。感染者を増やさないことが重要。社会的検査(PCR)が求められる。病院、高齢者施設、保育所や学校などで、定期的な検査と感染者の保護、感染追跡を行うことが必要。市の考えは。

答 道内もクラスターの発生で、医療機関のひっ迫を伝える報道が多くなっている。本市では、医療崩壊を防ぐため、医師会を中心に感染予防対策を徹底し、各医療機関において通常通り診療を続けている。市立総合病院では、現在のところ必要な人材は確保できている。社会的検査については、安価で検査ができるようになってきていることから、情報を収集しながら対応する。

問 コロナ感染拡大の中でのDV、児童虐待の相談状況や



手で触れずに腕やひじで開閉できるドアハンドルを替えてコロナ対策を行う清峰園

ひとり親世帯への支援については。

答 対応件数は増えていないが、こども家庭総合支援拠点事業で、全体の対応件数は増加傾向。

介護保険制度にかかわって

問 20年がたった介護保険制度。保険料はほぼ2倍、介護従事者など、担い手不足も深刻。第8期策定への考え方は。

答 保険料は被保険者数・要介護認定者数の伸びを考えると、増額が想定される。全国市長会と連携し、国に対して国庫負担割合の引き上げを引き続き要望していく。

議会運営委員会 活動報告

令和2年第4回定例会の日程、議事運営などを協議するため、10月13日から12月17日までの間、委員会を5回開催しました。

11月11日の委員会では、市議会に関する市民アンケート調査結果の検証を同月27日までにを行うことを確認しました。

11月27日の委員会では、会期を11月30日から12月18日までの19日間とすること、一般質問は16日から18日の3日間とし、13名の議員が登壇することを確認しました。また定例会初日の上程議案は、議案第1号名寄市墓地条例の制定についてなど45件と報告1件、諮問1件で、議案第1号については、市民福祉常任委員会に付託し、会期内で審査することを確認しました。

12月17日の委員会では、付託された議案第1号に係る委員長報告と定例会最終日の追加議案である特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定についてほか1件の審議を行うことを確認しました。

議会日誌 11~1月

- 11/4 市民福祉常任委員会
- 11/11 議会運営委員会
- 11/17 市民福祉常任委員会
- 11/18 総務文教常任委員会
- 11/20 経済建設常任委員会
- 11/24 各会派代表者会議
- 11/27 議会運営委員会
- 経済建設常任委員会

- 11/30 議会報特別委員会  
令和2年第4回定例会開会  
議員協議会
- 12/3 市民福祉常任委員会
- 12/7 市民福祉常任委員会
- 12/8 経済建設常任委員会
- 12/14 議会報特別委員会  
市民福祉常任委員会
- 12/17 議会運営委員会
- 12/18 令和2年第4回定例会閉会  
議員協議会

- 1/14 議会報特別委員会
- 1/19 市民福祉常任委員会  
経済建設常任委員会
- 1/20 議会運営委員会
- 1/26 総務文教常任委員会
- 1/27 議会運営委員会  
令和3年第1回臨時会  
議員協議会
- 1/29 議会運営委員会

# 総務文教常任委員会活動報告

## 第9回委員会報告

10月28日に第9回委員会を開催し、総合政策部からは、王子マテリア(株)名寄工場生産品集約に関する新対策本部を設置し、敷地の利活用および雇用対策を進める旨の説明を受けました。



新対策本部を設置し敷地の利活用と雇用対策を進める

名寄市立大学からは、後期の対面授業と遠隔授業、コミュニティケア教育研究センターの取り組み、高大連携、オープンキャンパス大学将来構想中期計画策定、大学院設置、学生寮整備、新見公立大

学との連携について説明を受け、質疑を行いました。

## 第10回委員会報告

11月18日に第10回委員会を開催し、名寄市立大学からは北海道における新型コロナウイルス感染症発症数拡大への対応、授業形態の状況(対面授業54・9%に対し、遠隔授業45・1%)、入学者選抜試験、大学入学共通テストの実施、第4回定例会補正予算(入学料減免、共通テスト提供手数料、学務システム変更委託料、図書館除菌ボックスの購入)について説明を受け、質疑を行いました。

教育部からは、名寄市風連スキー場条例・名寄市図書館条例・なよろ市立天文台条例の一部改正、学童保育所運営事業補助金の補正予算について説明を受けました。

総合政策部からは、定住自立圏の形成に関する協定の一部改正、王子マテリア(株)本社要望会の実施、JOCジュニ

アオリンピックカップ2021全日本ジュニアスキー選手権大会兼全日本中学生選抜スキー大会の開催について説明を受け、質疑を行いました。

総務部からは、指定管理者制度に関する運用指針について、統一ルールとして運用指針を策定し、必要に応じて適宜指針の内容を見直すとの説明を受け、質疑を行いました。また所得税法等の一部改正に伴う関係条例の整備、名寄市手数料徴収条例の一部改正、旧公設地方卸売市場跡地の財産処分、第4回定例会補正予算(麻生区町内会トイレ改修地域間幹線系統応援給付金)について説明を受けました。



野村学長らから大学の現況について説明を受ける

## 議員協議会

11月30日

11月30日の本会議終了後に議員協議会が開催され、名寄市総合計画(第2次)中期実施計画の見直しと、名寄市中期財政計画(令和3・4年度)について報告を受けました。

中期実施計画の見直しでは、搭載されている174事業のうち、50事業を重点プロジェクトと位置付け、特に安心子育てプロジェクトでは、南保育所整備などで11億7千万円を増額することや、新規追加事業としてキャッシュレス決済・コンビニ収納の導入事業、名寄高校駅設置事業などを盛り込むとの説明を受けました。中期財政計画では、今後の地域経済の動向などから、収支不足の発生が懸念されることや、地方財政対策の詳細が未公表であるため、把握可能な情報に基づいて財政計画の歳入・歳出を推計したとの説明を受けるとともに、今後は市の貯金に当たる財政調整基金の取り崩しなどが見込まれるため、一層の事業の選択と集中が必要になるとの報告を受けました。

## 市民福祉常任委員会活動報告

### 新型コロナウイルス感染症対策

健康福祉部からは、10月28日の第9回委員会にて、感染状況、感染者などへの偏見・差別の防止について、11月17日の第11回委員会にて、道内における検査・医療提供体制の状況について、12月14日の第14回委員会にて、市対策本部会議を開催し、「集中対策期間」を来年1月15日まで延長することを決定したとの報告を受け、質疑を行いました。

市立総合病院からは、第11回委員会にて、発熱外来の設置（屋外プレハブ）・自動精算機の導入について報告を受け、質疑を行いました。

### 名寄市墓地条例

市民部からは、10月7日の第8回委員会にて、改正の趣旨、合同墓の設置場所・使用料などについて、第11回委員会にて、合同墓の施設規模について報告を受けました。

第4回定例会議案第1号「名寄市墓地条例の制定について」は本委員会に付託され、12月3日の第12回委員会、7日の第13回委員会にて、慎重に審査を行いました。採決の結果、市民に丁寧でわかりやす

い解説を行うよう強く要望し、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

### 公立南保育所の整備（建設）

健康福祉部からは、第8回委員会にて、この間の検討内容と経過、今後のスケジュールについて、第9回委員会にて、整備の概要、場所の選定結果について、第14回委員会にて、基本設計の進捗状況について報告を受け、質疑を行いました。



建設が待たれる南保育所

「第8期高齢者保健医療福祉計画・介護保険事業計画」および「第6期障がい福祉実施計画」

健康福祉部からは、第11回

委員会で策定の進捗状況について、第14回委員会にて計画の概要について報告を受け、質疑を行いました。

そのほか、本委員会では、市民部から名寄市ごみ出し支援事業、第2次名寄市空き家等対策計画、名寄市国民保険条例の一部改正、市税等キャッシュレス決済・コンビ二収納導入事業について、市立総合病院から令和2年度上半期の収支について報告を受け、質疑を行いました。

### 委員会テーマの推進

11月4日の第10回委員会では、町内会ネットワーク事業、フレイル予防、コロナ禍における対応と課題について、町内会連合会役員の方々と意見交換を行いました。



町内会連合会役員との意見交換会

### 議員協議会

12月18日

12月18日の本会議終了後に議員協議会が開催され、一般廃棄物中間処理施設整備について報告を受けました。

現在は炭化センターの老朽化に加え、最終処分場に搬入される埋立ごみの多くは可燃系ごみであることから、ごみの性状に合った適切な処理と埋立ごみの減量対策が必要です。

施設整備では、「事業費78億円を暫定的としており、整備内容の工夫や精査などで、事業費の圧縮に向けて努力を行う」、「旧清掃センターの解体も行う」、「環境省の交付金などの活用を視野に入れている」、「令和9年の供用開始を目指している」との報告を受けました。



現時点での中間処理施設の事業費などが示された

# 経済建設常任委員会活動報告

## 市内経済対策

10月29日の第9回委員会では、経済部から王子マテリア（株）名寄工場生産品集約に関する新対策本部設置について、新型コロナウイルス感染症に関する経済対策事業の執行状況について、交流事業の実施状況と今後の予定について、令和2年度ピヤシリスキー場に係る運営改定の内容について、「なよろ産業まつり」代替企画の結果について、「地産地消フェアinなよろ」について報告を受け、質疑を行いました。



今シーズン大幅に運営改定したピヤシリスキー場

11月20日の第10回委員会では、経済部から令和2年度産物の出荷状況について、王子マテリア（株）への要望について、第4回定例会へ提出予定の一般会計補正予算（第9号）について報告を受け、質疑を行いました。また名寄地域商品券の未交換残の抽選販売について、市内事業者に対する新型コロナウイルス感染予防対策（新北海道スタイルの実践など）の徹底への協力依頼について報告を受けました。

### 下水道使用料の賦課漏れ

建設水道部からは、令和2年度道路除排雪実施計画について、第4回定例会へ提出予定の一般会計補正予算（第9号）について、名寄市手数料徴収条例の一部改正について報告を受け、質疑を行いました。また下水道使用料の賦課漏れの件について報告があり、水道を使用し、公共下水道に接続されているにもかかわらず、下水道使用料を徴収して

いない賦課漏れが、市民からの問い合わせにより判明し、現在、現地調査中である旨の報告を受け、質疑を行いました。

11月27日の第11回委員会では、建設水道部から下水道使用料の賦課漏れの調査結果について、賦課漏れ件数は31件、請求金額は591万7470円との報告を受け、質疑を行いました。今後は、工事受け付けから料金賦課までの事務の流れの見直し、料金入力事務の体制強化、未水洗化住宅の調査と排水設備申請制度の周知などにより、再発防止に努めるとの説明を受けました。



スキー場内に新たに設置されたキッズパーク

## 市民の声を市政に生かします!! 議会を傍聴しませんか!

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回、また臨時会も必要に応じて開催されます。

- ◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。
- ◇傍聴する際には、新型コロナウイルス感染症対策として、受付時の検温やマスクの着用をはじめ、間隔を空けて着席していただくなどのご協力をお願いします。
- ◇本会議の開催日など、詳しくは議会事務局（☎01654-3-2111）へお問い合わせください。



# ☆ き ぽ う ☆



## それでも歩む☆

いしだ そう がん  
石田 十羽完

コロナ禍の中、みんながそれぞれに我慢の生活を余儀なくされています。またその影響は、多くの職業に及んでいます。今回の出来事の中で「人と人が直接会って会話をすること」の大切さを痛感しました。Zoom（ズーム）などを利用した、リモート画面での会議や面会では、細かな感情が伝わらない場面が多くあります。普段のたわいもない雑談ができず、コミュニケーションも取りにくいです。

現在、私は名寄商工会議所青年部（名寄 YEG）に属しています。最近、子どもクリスマスイベント「星に願いを」に取り組みました。このような状況ですが、工夫を行い、少しでも希望の光を照らせるような地域活動を、仲間と共に行っていけたらと思っています。



## ヨガで健康的な毎日に

あべかわ きみえ  
畔川 輝弥恵

夫の転勤で名寄へ越してきて、ヨガ教室を始めてから約2年がたちました。少しずつ教室に通ってくださる方々が増え、またNスポーツコミッション様からのお声掛けもあって、たくさんの方の名寄市民の皆さまにヨガを体験していただいています。体調が良くなった、気持ち良かったなどのお言葉をいただくたびに、心から喜びとやりがいを感じています。

ヨガの本来の目的は、「心の安定」です。自分の心を上手にコントロールするためには、心の器となる体が健康でなければなりません。多くの方が普段から何となく感じている体の不調を、ヨガのポーズと呼吸法で改善することが期待できます。名寄でもたくさんの方が、より健康的な毎日を過ごせるよう、ヨガを通してお手伝いしていきたいと思っています。

## 表紙の写真は「名寄西クラブバレーボール少年団」です。

現在、名寄西クラブバレーボール少年団は、2～6年生までの女子20名で活動しています。今年度は新型コロナウイルスの影響で、残念ながら出場が決定していた全道大会が中止になってしまいましたが、「笑顔・全力・支え合い」を合言葉に、前向きに楽しく活動しています。今は5年生中心の新チームに切り替わり、全道大会を目指して、日々一生懸命練習に励んでいます。



## 編集後記

コロナ対応に明け暮れた一年でした。今定例会の一般質問では、13人中10人がコロナ関連で質問しました▼議会では、蜜を回避しながら本会議、委員会などでのマスク着用はもちろん、手指消毒、換気の徹底を行ってきました。先進地などへの視察はすべて中止し、議員間の研修や親睦などは最小限に抑えて行ってきました▼議員間の交流・親睦会から思いつくことは、先輩議員から名寄市議会の歴史や、議会運営について、申し合わせ事項について、さらには質問の準備などについても会派間の垣根を超えて多くのことを教えていただいたことです。コロナ禍の中で、人とのつながりの大切さを再認識しています▼議会改革で取り組みましたアンケートにたくさんのご意見をいただきました。議会の様子がわかりやすく、市民の皆さんの話題に上るような「議会だより」を目指して取り組みを進めてまいります。

(幸)

